

ライブ毎刊びゃっきープレス

2006

無料配布

↑あたりまえ

7 月 22/23 日号

ライブ当日発行

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟

http://www.satram.jp/byacky/

byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人



役にたたない偏重サイト
情報がグレードダウン!!

アクセス不要

http://www.satram.jp/

info@satram.jp

byacky press

発表

びゃっきー初の居酒屋ライブが 2006 年 7 月 1 日に新大久保で行われた。お客さんの歓談のジャマをしないようにひっそりと行われたライブは、予想以上の反響のなさと、びゃっきー自身戸惑いを隠せない。今後もこのラジオ形式ライブが続けられるかどうかは予断を許さない状況である。

居酒屋ラジオ形式ライブ第 1 回



居酒屋ライブを終え、放心状態のびゃっきー

びゃっきー

研究の成果で孤独なライブ

7 月 1 日(土)
新大久保にある居酒屋で、記念すべきびゃっきー居酒屋デビューライブが開催された。

居酒屋であるため、普通に飲みに来たお客さんがいる。その人たちの歓談を邪魔するのだけは避けたい。しかしそれだけだと、

とびゃっきーらしからぬと思いつく、MC をラジオ風にして、聞きたくない場合は軽く流せるように工夫することにした。

フリーのお客さんがゼロというわけではない。そんな中始まった、前のバンドのステージ。結構歌も演奏も面白い。

答えが呼び込み、店の前に断つて、ライブ前に 15 分ほど店の前で呼び込みをさせてもらった。こんなライブは初めてである。

は、歌うは、どんなと突き進む。誰一人聞いていない中、孤独な戦いが繰り広げられていた。一瞬でも聴いてもらえるその瞬間を信じて全力のステージが繰り広げられた。「拍手は結構です」というのだけはみなさんきちんと聞いていたように、ほんとは誰一人拍手をする人はいなかった。

新たな境地を開拓

店は 16 時にオープン。その日は 19 時から 1 バンド、20 時からびゃっきー、の 2 ステージ。19 時になったが、お客さんが少ない。聞けばフリーのお客さんはあまり入らないとのこと。それやないぜ、セニョール。なんのために MC を研究したかわからんてなことに。これはいいか? とはいえ

そして最後に決めた技として、とつておいた「60 億分の 1」。最後の曲です。って言ったのに、やっぱり聞いていない。曲の途中であ席を立ちお勘定。ありがたうございませした、ちーん」と



大活躍の新鍵盤。88 鍵で 8.1kg の軽さはさすが。

自分でも思う。(びゃっきー)